



全国学力・学習状況調査 本校の結果・考察

藤枝中学校では、教科の本質に迫り、教科特有の考え方やものの見方を身に付け、思考力・判断力・表現力の育成を目指して、日々授業を行っています。また、生徒一人一台のタブレット端末を効果的に活用することで、よりそれらの力の育成を図ることができるのではないかと研修を重ねています。

本年度の全国学力・学習状況調査における本校3年生の結果と考察を報告します。これらを生かし、日々の授業において、実態に応じたきめ細かい指導を今後も継続しながら、生徒一人一人に学習内容が定着していくようにより一層努めていきます。また、ご家庭とも連携しながら、結果のみでなく、日頃からの学習への取組や生活習慣等についても励ましやアドバイスをを行い、次の一歩へ繋げていきたいと考えています。

全国学力・学習状況調査とは？

文部科学省が、全国的に子どもたちの学力状況を把握するために平成19年度から実施しているもの。

【目的】

- ①全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

教科に関する状況

全国と県の平均正答率と比較して見えてきた本校3年生の状況

★★：平均を大きく上回る(+3%以上) ★：平均を上回る(+3%未満)

—：平均と同程度(±1%)

▽：平均を下回る(-3%未満)

▽▽：平均を大きく下回る(-3%以上)

国語	県との比較	全国との比較
	★	★★

- 論理の展開などに注意して聞く問題で県・全国平均を大きく上回った。
- 文脈に即して漢字を正しく書く問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉える問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する問題や表現の技法についての問題で課題が見られた。
- ▲3問あった記述式問題の内、2問で無解答率が10%を超えた。

数学	県との比較	全国との比較
	★★	★★

- 反例や一次関数の変化の割合、確率の意味についての問題では、いずれも県・全国平均を大きく上回った。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を書く問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題や筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明する問題で課題が見られた。これらの問題では、県・全国平均と同じく無回答も多くみられた。

理科	県との比較	全国との比較
	★	★★

- 日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問う問題では、県・全国平均を大きく上回った。
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて説明する問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問う問題で、県・全国平均を大きく上回った。
- ▲継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を考える問題で課題が見られた。
- ▲考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する問題で課題が見られた。この問題では、無回答が多く、県・全国平均を上回った。

生活に関する状況

全国と県の平均正答率と比較して見えてきた本校3年生の状況

★★:平均を大きく上回る(+3%以上) ★:平均を上回る(+3%未満)

- :平均と同程度(±1%)

▽:平均を下回る(-3%未満)

▽▽:平均を大きく下回る(-3%以上)

項目	県比較	全国比較
朝食を毎日食べている。	★★	★★
毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	★★	★★
家で学校からの課題で分からないことがあったとき、自分で調べる。	★★	★★
家で自分で計画を立てて勉強(学校の授業の予習や復習を含む)をしている。	★★	★★
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強する。	★★	★★
読書は好き。	★★	★★
今住んでいる地域の行事に参加している。	★★	★★
学校の授業では、PC・タブレットなどのICT機器を週に3時間以上使用してきた。	★	★★
学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を週に3時間以上使っている。(インターネット検索など)	★★	★★
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んできた。	★★	★★
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。	★★	★★
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	★★	★★
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	▽	▽▽
友達と協力するのは楽しいと思う。	▽	▽
自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。	▽▽	▽▽
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	▽▽	▽▽
自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行ってきた。	▽▽	▽▽

まとめ

国語・数学・理科の学力調査において、多くの項目の正答率が県・全国平均を上回りました。日々の授業において、日常生活との結び付きを意識し、自分の考えをもてるような授業実践や、書いたり話したりして自分の考えを表現することを大切にして、学校全体で継続的な取組を重ねてきた成果と考えられます。今後も、かかわり合いや学び合いを大切に、生徒用端末(タブレット)やICT機器を効果的に活用しながら、確かな学力を身に付けさせていきたいと思ひます。藤枝市では「授業で人を育てる」という共通理念のもと小中一貫教育を推進しています。9年間の義務教育を見通し、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導を行うことで、未来を生き抜くための確かな学力や社会性、道徳性を身に付けることをめざします。

生徒質問紙では「家で学校からの課題で分からないことがあったとき、自分で調べる」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んできた」「家で自分で計画を立てて勉強(学校の授業の予習や復習を含む)をしている」と答えている生徒が多く、生徒が主体的に学習に取り組んでいる様子が伺われます。その他の項目においても肯定的な回答が多く、コロナ禍で制限がある中ですが、前向きに考えて取り組んでいることが感じられます。合唱発表会や体育祭などの行事にも精一杯取り組み、クラスや学年、学校全体の絆が深まっており、一人一人の自信にも繋がっていると感じます。

今年も大祭をはじめ、PTA アルミ缶回収や防災訓練など、中止や縮小、方法の変更などにより地域との関わりをもつことが難しかったと思ひます。そのような中でも地域の方々の見守りや励ましなどの温かな支えが、子どもたちの健やかな成長に繋がっています。今後も、学校・家庭・地域が「はばたけ！ふるさとの誇りを担う子どもたち」のキャッチフレーズのもと連携し、子どもたちの成長を見守っていききたいと思ひます。よろしくお願ひします。